

基本使用方法

製品の232C端子から設定を一つずつ実行する方法です

予めMCA1120 PCA1120の電源をONにしておいてください

事前準備

① 接続

PCのUSB端子とリアの232C端子を接続してください



USB-232Cコンバータに合致したドライバーインストールが必要です

ケーブル例

USB-232Cコンバーター

ドライバー

<https://www.aten.com/global/en/supportcenter/downloads/UC232A用のドライバーを使用>



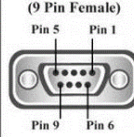
PLANEX社
URS-03

3.5φ 232Cケーブル



Pin 1	RI
Pin 2	TXD
Pin 3	RXD
Pin 4	DSR
Pin 5	GND
Pin 6	DTR
Pin 7	CTS
Pin 8	RTS
Pin 9	Power Input /DCD

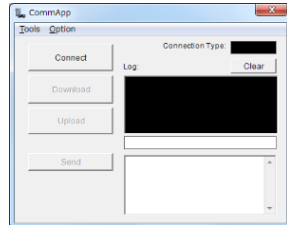
RS232 Pinout
(9 Pin Female)



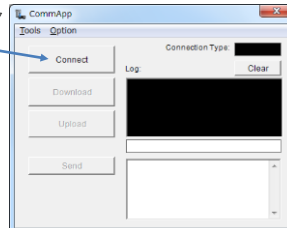
② 通信確立

PCでコマンドアプリを立ち上げてください

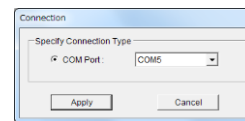
初期画面



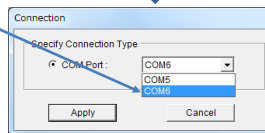
Connectをクリック
します



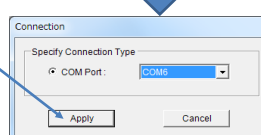
子画面が登場します



USBケーブルを挿入したポートを選択します

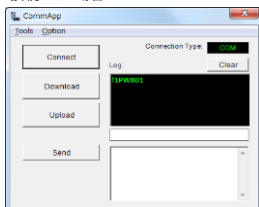


Applyをクリックします

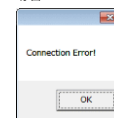


子画面が消えます

接続OKの場合



接続NGの場合



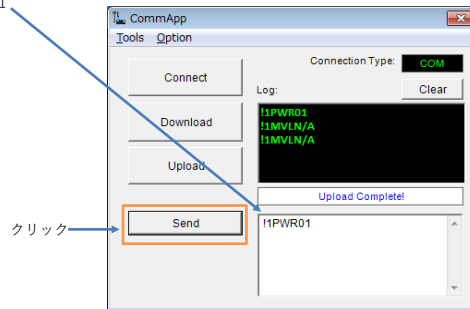
OKをクリックした後、
ケーブルの接続確認や
別のCOMポートを選択など
して再度Applyをクリックください

コマンド設定

小窓にコマンドを打ち込みます
コマンドリストの「コマンド列」をコピー&ペーストするか、文字列を直接打ち込んでください
打ち込んだらSendボタンをクリック

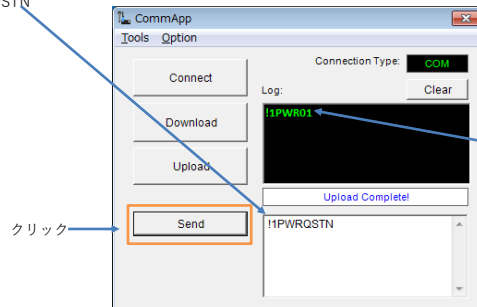
例) パワーONを設定

!!PWR01



例) パワーの状態を確認

!!PWRQSTN



PWR01=パワーオンの状態を表す

設定パラメーター一括吸出し、一括設定

全ての232C設定パラメータを一括で読み出し、ファイル保存することで、

- ・複数セットへの設定コピー
- ・故障入れ替え時の設定引継ぎ

が一括処理で実行可能となります

MCA1120で232C端子により、マイクのフィードバックサプレッサーのEQ値を設定していた場合、バージョンによっては、この一括設定を実施しても設定データが反映されない場合があります。詳細は本資料最下部に記載されている「**■旧バージョン→新バージョンへの設定データ引継ぎの注意点**」を参照ください。

予めMCA1120 PCA1120の電源をONにしておいてください

事前準備

① PCのUSB端子とリアの232C端子を接続してください



USB-232Cコンバータに合致したドライバーインストールが必要です

ケーブル例 USB-232Cコンバーター



PLANEX社
URS-03

ドライバー

<https://www.aten.com/global/en/supportcenter/downloads/UC232A用のドライバーを使用>

3.5φ 232Cケーブル

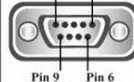


Pin 1	RI
Pin 2	TXD
Pin 3	RXD
Pin 4	DSR
Pin 5	GND
Pin 6	DTR
Pin 7	CTS
Pin 8	RTS
Pin 9	Power Input (DCD)

RS232 Pinout

(9 Pin Female)

Pin 5 Pin 1

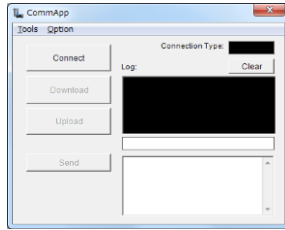


Pin 9 Pin 6

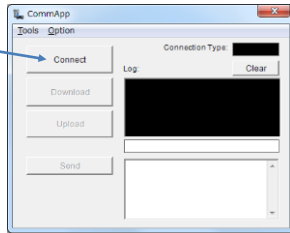
②
通信確立

PCでコマンドアプリを立ち上げてください

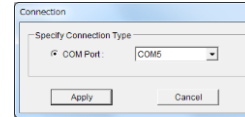
初期画面



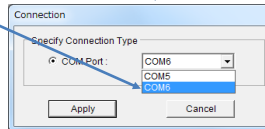
Connectをクリック
します



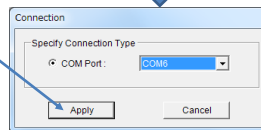
子画面が登場します



USBケーブルを挿入したポートを選択します

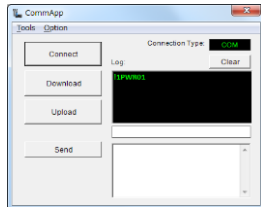


Applyをクリックします

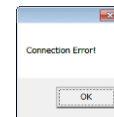


子画面が消えます

接続OKの場合



接続NGの場合



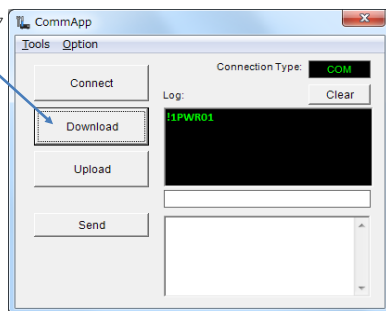
OKをクリックした後、
ケーブルの接続確認や
別のCOMポートを選択など
して再度Applyをクリックください

現状の製品設定をPCにファイル保存する場合

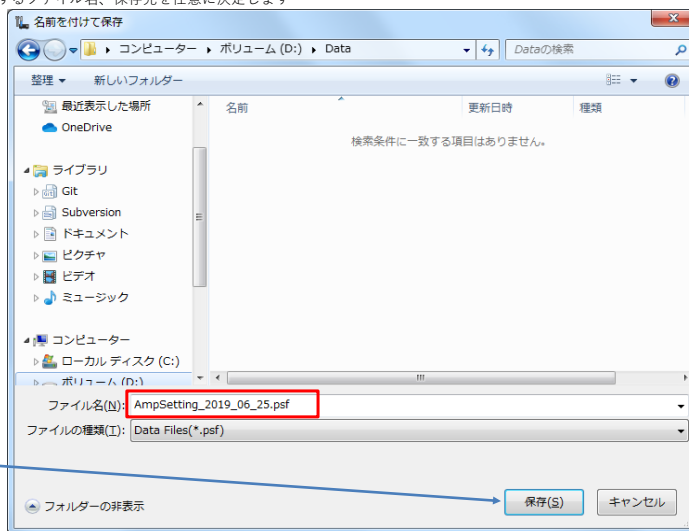
一括吸出し
Download

重要：Downloadを実行するには、「QSTNCommandData.csv」が必要になります
「CommApp.exe」と同じフォルダに「QSTNCommandData.csv」を置いてコマンドアプリを立ち上げてください

Downloadをクリック
します

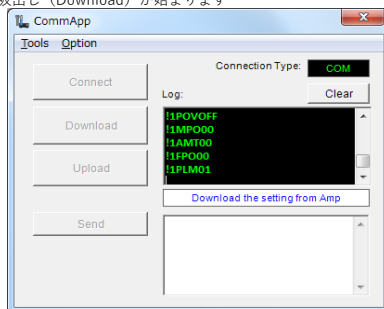


設定データを保存するファイル名、保存先を任意に決定します



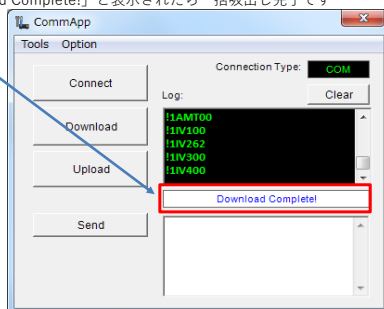
保存をクリック
します

設定データの一括吸出し（Download）が始まります



5秒～20秒ほどで終了します

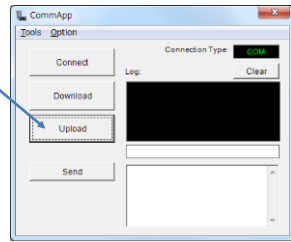
小窓に「Download Complete!」と表示されたら一括吸出し完了です



保存したファイルを製品に設定する場合

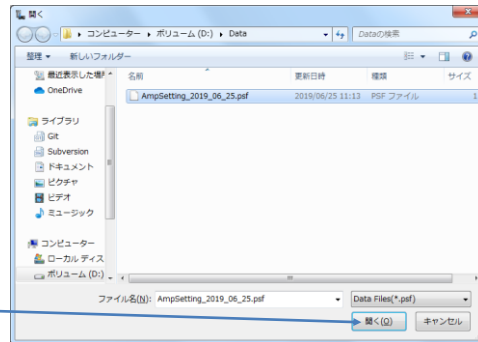
一括設定
Upload

Uploadをクリック
します

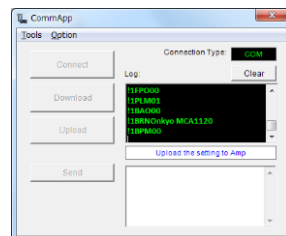


「Download」で保存したファイルを選択します

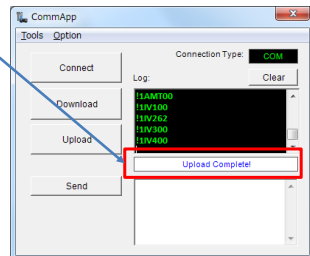
開くをクリック
します



設定データの一括設定 (Upload) が始まります



小窓に「Upload Complete!」と表示されたら一括設定完了です



■旧バージョン→新バージョンへの設定データ引継ぎの注意点

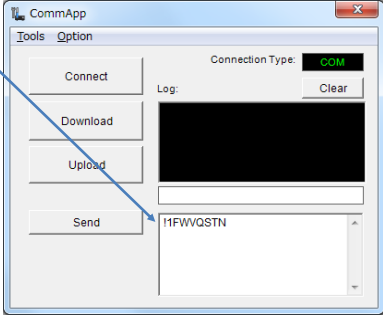
MCA1120では旧バージョン(Main ver.1.00)のセットから読み出して、新バージョン(Main ver.1.01以降)のセットへ設定をコピーする場合は、マイク1/2入力のフィードバックサプレッサーのEQ値の設定が反映されません。(PCA1120は対象外)
コマンドリストを参考にして、再設定が必要になります。(コマンド名:MQ1/MQ2)

バージョンは以下の「Firmware Version確認方法」を参照してご確認ください。

Firmware Version確認方法
製品のVersionを確認します。

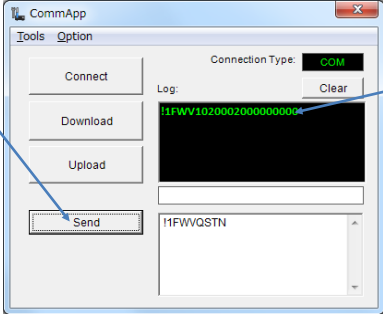
通信確立後、以下の操作をしてください

Sendの横にコマンドを入力してください



!!FWVQSTN

Sendをクリックします



!!FWV1020002000000000

この場合は以下のVersionとなります
最初の3桁 102:Main version 1.02 (100:Ver1.00, 101:Ver1.01)
次の2桁 00:Bluetooth version 1.00 (01:Ver1.01, 02:Ver1.02)
次の2桁 02:DSP version 1.02(00:Ver1.00, 01:Ver1.01)

PCから232C各種設定

*ご注意 ■本体DIPスイッチと232C両方で設定可能な機能（BGM Mode/Keylock）は232Cケーブル挿入状態ではPC設定が優先され、抜くとDIPスイッチ設定が有効となります
*KeylockのDIPスイッチを有効にする場合は一度AC OFF/ONを実施してください

■各設定はAMP電源がONのときに可能です

○	全ファームウェア対応
○(1)	OI_MCA1120_PCA1120_Firmware_190118以降のファームウェアにて対応

大項目	機能	機能詳細	コマンド*	MCA1120	PCA1120
セットアップ	フロントパネルロックモード	パネルロックOFF (初期値)	!1PLM00	○	○
		パネル一部ロック (POWERキーとマスターVOL以外をロック)	!1PLM01	○	○
		パネル全ロック	!1PLM02	○	○
		パネルロックモード状態確認	!1PLMQSTN	○	○
	Bluetooth有効/無効	BT有効 (初期値)	!1BAO00	○(1)	×
		BT無効	!1BAO01	○(1)	×
		BT有効/無効状態確認	!1BAOQSTN	○(1)	×
	AC ON時パワー設定	AC OFFに遷移した時の状態に準ずる (初期値)	!1FPO00	○(1)	○(1)
		強制ON (AC OFF遷移時の状態に依存しない)	!1FPO01	○(1)	○(1)
		AC ON時パワー設定確認	!1FPOQSTN	○(1)	○(1)
	パワーオン時音量設定	現状の音量をセット	!1POVSET	○(1)	○(1)
		設定解除 (VOLノブに従う) (初期値)	!1POVOFF	○(1)	○(1)
		パワーオン時音量セット (各VOL個別に16進数でセット) aa:マスターVOL - "00" - "64" bb:BT/LINE1 VOL - "00" - "64" cc:LINE2 VOL - "00" - "64" dd:MIC1 VOL - "00" - "64" ee:MIC2 VOL - "00" - "64" FFにセットしたVOLはOFF (VOLノブ位置に準ずる)	!1POVaabbccdde	○(1)	×
		パワーオン時音量セット (aaに16進数でセット) aa:マスターVOL - "00" - "64"	!1POVaa	×	○(1)
		パワーオン時音量設定確認	!1POVQSTN	○(1)	○(1)
		固定レベル設定 +1~+18dB (+***: +001~+018) 0dB (0000) -128~-1dB (-***: -128~-001) 1dBステップで***部に数値を入れる	!1PFL+*** !1PFL0000 !1PFL-***	○(1)	×
		Pre Out固定レベル1dBずつアップ	!1PFLUP	○(1)	×
	Pre Out固定レベル1dBずつダウン	!1PFLDOWN	○(1)	×	
	Pre Out固定レベル確認	!1PFLQSTN	○(1)	×	

大項目	機能	機能詳細	コマンド*	MCA1120	PCA1120	
サウンド 設定	トーンコントロール	低音調整 ±10の範囲を16進数でセット(**: -A~00~+A)	!1TFRB**	○	○	
		高音調整 ±10の範囲を16進数でセット(**: -A~00~+A)	!1TFRT**	○	○	
		低音アップ(1dBステップ)	!1TFRBUP	○	○	
		低音ダウン(1dBステップ)	!1TFRBDOWN	○	○	
		高音アップ(1dBステップ)	!1TFRTUP	○	○	
		高音ダウン(1dBステップ)	!1TFRTDOWN	○	○	
		トーン状態確認 ("BxxTxx")	!1TFRQSTN	○	○	
	BGMモード	オフ	!1OSM00	○	○	
		Mode1:Lively(アパレルモード)	!1OSM01	○	○	
		Mode2:Natural(BGMモード)	!1OSM02	○	○	
		Mode3:Calm(カフェ・クリニックモード)	!1OSM03	○	○	
		モードを順番に切り替え (昇順)	!1OSMUP	○	○	
		モードを順番に切り替え (降順)	!1OSMDOWN	○	○	
		BGMモード状態確認	!1OSMQSTN	○	○	
	サブウーファーHPF PCA1120をサブウーファー用として使用する時 (超低域のビビリ防止)	10Hz	!1HSW00	×	○	
		20Hz	!1HSW01	×	○	
		30Hz	!1HSW02	×	○	
		HPF設定値確認	!1HSWQSTN	×	○	
		FIR of HPF	!1FIR00	○(1)	○(1)	
	FIR of HPF HPFの特性をシャープにして低域強化 (MCAのMIC以外の遅延が80ms程度増加)	Off (初期値)	!1FIR00	○(1)	○(1)	
		On	!1FIR01	○(1)	○(1)	
		FIR設定確認	!1FIRQSTN	○(1)	○(1)	
	Speaker Out Delay スピーカー出力を遅延。 1msステップで0~500ms(初期値:0)	1msステップで0~500msまで(**: 000~500)	!1SOD***	○(1)	○(1)	
		Delay値アップ(1ms ステップ)	!1SODUP	○(1)	○(1)	
		Delay値 ダウン(1ms ステップ)	!1SODDOWN	○(1)	○(1)	
		Speaker Out Delay値確認	!1SODQSTN	○(1)	○(1)	
	Pre Out Delay Preout出力を遅延。 1msステップで0~500ms(初期値:0)	1msステップで0~500msまで(**: 000~500)	!1POD***	○(1)	×	
		Delay値アップ(1ms ステップ)	!1PODUP	○(1)	×	
		Delay値 ダウン(1ms ステップ)	!1PODDOWN	○(1)	×	
		Pre Out Delay値確認	!1PODQSTN	○(1)	×	
	カスタムEQ バンド1 SOUND MODE DIPスイッチの No.8/9/10を全て上側時に有効	ε:フィルタータイプ 0:Parametric EQ 1:Low shelving filter 2:High shelving filter 3:Low Pass filter 4:High Pass filter ffff:カットオフ/センター周波数	!1FQ1 tffffqggggg	○	○	
		"0001", "0002" - "4E20"(1Hz, 2Hz - 20kHz :1Hz step) 16進数で入力				
		qq:Q "01", "02" - "64"(0.1, 0.2 - 10.0 :0.1step) 10倍した16進数で入力				
		ggg:ゲイン "0000", "0001" - "0078"(0.0dB, +0.1dB - +12.0dB :0.1dB step), "FF88", "FF89" - "FFFF"(-12.0dB, -11.9dB - -0.1dB :0.1dB step) 10倍した16進数で入力				
		バンド1パラメータ確認	!1FQ1QSTN			
		カスタムEQ バンド2	パラメータはバンド1と同じ バンド2パラメータ確認			!1FQ2tffffqggggg !1FQ2QSTN
		カスタムEQ バンド3	パラメータはバンド1と同じ バンド3パラメータ確認			!1FQ3tffffqggggg !1FQ3QSTN
		カスタムEQ バンド4	パラメータはバンド1と同じ バンド4パラメータ確認			!1FQ4tffffqggggg !1FQ4QSTN
		カスタムEQ バンド5	パラメータはバンド1と同じ バンド5パラメータ確認			!1FQ5tffffqggggg !1FQ5QSTN
		カスタムEQ バンド6	パラメータはバンド1と同じ バンド6パラメータ確認			!1FQ6tffffqggggg !1FQ6QSTN
		カスタムEQ バンド7	パラメータはバンド1と同じ バンド7パラメータ確認			!1FQ7tffffqggggg !1FQ7QSTN
		カスタムEQ バンド8	パラメータはバンド1と同じ バンド8パラメータ確認			!1FQ8tffffqggggg !1FQ8QSTN
カスタムEQ バンド9		パラメータはバンド1と同じ バンド9パラメータ確認	!1FQ9tffffqggggg !1FQ9QSTN			
カスタムEQ バンド10	パラメータはバンド1と同じ バンド10パラメータ確認	!1FQAffffqggggg !1FQAQSTN				
カスタムEQ バンド11	パラメータはバンド1と同じ バンド11パラメータ確認	!1FQBffffqggggg !1FQBQSTN				
カスタムEQ バンド12	パラメータはバンド1と同じ バンド12パラメータ確認	!1FQCffffqggggg !1FQCQSTN				
EQヘッドルーム (EQ ONで音声为重む場合に設定)	ヘッドルーム設定確認 0.5dBステップで**部に00から18の数値を入力 ヘッドルーム設定確認	!1FHD** !1FHDQSTN	○	○		

大項目	機能	機能詳細	コマンド*	MCA1120	PCA1120	
マイク設定	マイク用HPF 「吹かれ」低減用に低周波をカット	100Hz (初期値)	!1HMC00	○	×	
		200Hz	!1HMC01	○	×	
		250Hz	!1HMC02	○	×	
		マイクHPF設定値確認	!1HMCQSTN	○	×	
	ダッカーレベル ダッカー時のBGM減衰量の調整(ダッカーは SOUND MODE DIPスイッチNo.1で有効)	-40dB	!1DLV00	○	×	
		-24dB (初期値)	!1DLV01	○	×	
		mute	!1DLV02	○	×	
		ダッカーレベル確認	!1DLVQSTN	○	×	
	マイク1近接補正 マイク1と口元が近接したときに、 自動で低域補正	Off (初期値)	!1PM100	○	×	
		On	!1PM101	○	×	
		マイク1近接補正設定確認	!1PM1QSTN	○	×	
	マイク2近接補正 マイク2と口元が近接したときに、 自動で低域補正	Off (初期値)	!1PM200	○	×	
		On	!1PM201	○	×	
		マイク2近接補正設定確認	!1PM2QSTN	○	×	
	歪み検出MUTE ハウリング時に大音量が出るのを防ぎます	Off (初期値)	!1DDH00	○	×	
		On	!1DDH01	○	×	
		歪み検出機能設定確認	!1DDHQSTN	○	×	
	ノイズゲートレベル マイクレベルがある一定以下のときに、自動で マイク入力をミュートします	Off	!1INGL00	○	×	
		高Level (うるさい環境)	!1INGL01	○	×	
		中Level (初期値)	!1INGL02	○	×	
		低レベル (静かな環境)	!1INGL03	○	×	
		ノイズゲートレベル設定確認	!1INGLQSTN	○	×	
	マイク1用手动EQ ハウリング低減用PRESET EQ	BAND毎のゲインを設定する(3dBステップ) 0:Off, 1:-3dB, 2:-6dB, 3:-9dB, 4:-12dB, 5:-15dB, 6:-18dB		!1MQ1 abcdefghijklmnopq rst	○(1)	×
		a: BAND1 = 125Hz				
		b: BAND2 = 157Hz				
		c: BAND3 = 198Hz				
		d: BAND4 = 250Hz				
e: BAND5 = 315Hz						
f: BAND6 = 397Hz						
g: BAND7 = 500Hz						
h: BAND8 = 630Hz						
i: BAND9 = 794Hz						
j: BAND10 = 1kHz						
k: BAND11 = 1.26kHz						
l: BAND12 = 1.587kHz						
m: BAND13 = 2kHz						
n: BAND14 = 2.52kHz						
o: BAND15 = 3.175kHz						
p: BAND16 = 4kHz						
q: BAND17 = 5.04kHz						
r: BAND18 = 6.35kHz						
s: BAND19 = 8kHz						
t: BAND20 = 10.079kHz						
マイク1 EQ設定値確認	!1MQ1QSTN	○(1)	×			
マイク2用手动EQ ハウリング低減用PRESET EQ	設定パラメータはマイク1と同じ		!1MQ2 abcdefghijklmnopq rst	○(1)	×	
	マイク2 EQ設定値確認	!1MQ2QSTN	○(1)			×

PCから232Cリアルタイム制御

大項目	機能	機能詳細	コマンド	MCA1120	PCA1120
リアルタイム制御	電源ON/OFF	オフ (スタンバイ)	!1PWR00	○	○
		オン	!1PWR01	○	○
		電源状態確認	!1PWRQSTN	○	○
	音声ミュート	音声ミュートOFF (有音)	!1AMT00	○	○
		音声ミュートON (無音)	!1AMT01	○	○
		音声ミュートON-OFF交互切り替え	!1AMTTG	○	○
		音声ミュート状態確認	!1AMTQSTN	○	○
	全体音量調整	全体音量レベル: **に0-64 (16進数) を入力	!1MVL**	○	○
		全体音量レベル: 1dBずつアップ	!1MVLUP	○	○
		全体音量レベル: 1dBずつダウン	!1MVLDOWN	○	○
		全体音量レベル確認	!1MVLQSTN	○	○
	Bluetooth / LINE 1個別音量調整	BT/LINE1音量レベル: **に0-64(16進数) を入力	!1V1**	○	×
		BT/LINE1音量レベル: 1dBずつアップ	!1V1UP	○	×
		BT/LINE1音量レベル: 1dBずつダウン	!1V1DOWN	○	×
		BT/LINE1音量レベル確認	!1V1QSTN	○	×
	LINE 2個別音量調整	LINE2音量レベル: **に0-64(16進数) を入力	!1V2**	○	×
		LINE2音量レベル: 1dBずつアップ	!1V2UP	○	×
		LINE2音量レベル: 1dBずつダウン	!1V2DOWN	○	×
		LINE2音量レベル確認	!1V2QSTN	○	×
	MIC 1個別音量調整	MIC1音量レベル: **に0-64(16進数) を入力	!1V3**	○	×
		MIC1音量レベル: 1dBずつアップ	!1V3UP	○	×
		MIC1音量レベル: 1dBずつダウン	!1V3DOWN	○	×
		MIC1音量レベル確認	!1V3QSTN	○	×
	MIC 2 / LINE 3個別音量調整	MIC2/LINE3音量レベル: **に0-64(16進数) を入力	!1V4**	○	×
MIC2/LINE3音量レベル: 1dBずつアップ		!1V4UP	○	×	
MIC2/LINE3音量レベル: 1dBずつダウン		!1V4DOWN	○	×	
MIC2/LINE3音量レベル確認		!1V4QSTN	○	×	
リセット (製品フリーズ時に使用)	製品が再起動 (各種設定はキープ)	!1RSTALL	○	○	

大項目	機能	機能詳細	コマンド	MCA1120	PCA1120
各種確認用	ファームバージョン	ファームウェアバージョン確認 コマンドの返り値"abcefh0000000000" "a.bc": Mainマイコンのバージョン "1.ef": Bluetoothファームのバージョン "1.hi": DSPファームのバージョン "0000000000"は無視	!1FWVQSTN	○	○
		パワーONの累積稼働時間確認 コマンドの返り値"hhhhh:mm" hhhhh: 時間 (000000-065535) mm: 分 (00-59)	!1COTQSTN	○	○